自己評価結果の公表に係る届出書（令和6年度実施分）

令和　7 年　4 月 1　日

奈良市長　殿

所在地　奈良市あやめ池南1-1-14

届出者　法人名　特定非営利活動法人ザ・ホープフル

代表者職・氏名　理事長　大東直美

1．事業所の状況

事業所番号	2	9	5	0	1	6	1	3	1	1					
事業所名称	のんたん														
サービス種類	☑	児童発達支援	指定年月日	R		2	年	1	0	月		1	日		
	☑	放課後等デイサービス	指定年月日	R		2	年	1	0	月		1	日		
	☐	保育所等訪問支援	指定年月日				年			月			日		
連絡先	TEL	0742-93-9816													
	E-MAIL	nontan@star.ocn.ne.jp													

2．公表結果

公表日		R	7	年		4	月		1	日					
公表方法	児童発達支援														
	☑	ホームページ掲載	URL：	https://the-hopeful.net/nontan/											
	☑	会報等掲載し配布	会報等名称：	のんたん通信											
	☐	その他	具体的な方法：												
	放課後等デイサービス														
	☑	ホームページ掲載	URL：	https://the-hopeful.net/nontan/											
	☑	会報等掲載し配布	会報等名称：	のんたん通信											
	☐	その他	具体的な方法：												
	保育所等訪問支援														
	☐	ホームページ掲載	URL：												
	☐	会報等掲載し配布	会報等名称：												
	☐	その他	具体的な方法：												

※添付書類・・・各サービスの自己評価結果及び保護者評価結果
（保育所等訪問支援については、訪問先施設評価結果をあわせて提出すること）

3．未公表

☐　公表を行わない。または、行う予定がない。

→以下の書類を提出

①減算の場合

・障害児通所給付費算定に係る体制等に関する届出書
・障害児通所・入所給付費の算定に係る体制等状況一覧表
・自己評価結果の公表に係る届出書（令和６年度実施分）

②当該年度に利用者なしの場合

・自己評価結果の公表に係る届出書（令和６年度実施分）
・自己評価結果の公表に係る届出書が提出できないことについて

担当者名	玉置麗子
連絡先（TEL）	0742-93-9816

自己評価結果の公表に係る届出書（令和6年度実施分）

令和　7 年　4 月 1　日

奈良市長 殿

所在地　奈良市あやめ池南1-1-14
届出者　法人名　特定非営利活動法人ザ・ホープフル
代表者職・氏名　理事長　大東直美

1．事業所の状況

事業所番号	2	9	5	0	1	0	0	4	6	7					
事業所名称	のんたん分室														
サービス種類	☐	児童発達支援			指定年月日				年			月			日
	☑	放課後等デイサービス			指定年月日	R		6	年		4	月		1	日
	☐	保育所等訪問支援			指定年月日				年			月			日
連絡先	TEL	0742-93-9816													
	E-MAIL	nontan@star.ocn.ne.jp													

2．公表結果

公表日	R 7年 4月 1日			
公表方法	児童発達支援			
	☐	ホームページ掲載	URL：	
	☐	会報等掲載し配布	会報等名称：	
	☐	その他	具体的な方法：	
	放課後等デイサービス			
	☑	ホームページ掲載	URL：	https://the-hopeful.net/nontan/
	☑	会報等掲載し配布	会報等名称：	のんたん通信
	☐	その他	具体的な方法：	
	保育所等訪問支援			
	☐	ホームページ掲載	URL：	
	☐	会報等掲載し配布	会報等名称：	
	☐	その他	具体的な方法：	

※添付書類・・・各サービスの自己評価結果及び保護者評価結果
（保育所等訪問支援については、訪問先施設評価結果をあわせて提出すること）

3．未公表

☐ 公表を行わない。または、行う予定がない。

→以下の書類を提出

①減算の場合

・障害児通所給付費算定に係る体制等に関する届出書
・障害児通所・入所給付費の算定に係る体制等状況一覧表
・自己評価結果の公表に係る届出書（令和６年度実施分）

②当該年度に利用者なしの場合

・自己評価結果の公表に係る届出書（令和６年度実施分）
・自己評価結果の公表に係る届出書が提出できないことについて

担当者名	玉置麗子
連絡先（TEL）	0742-93-9816

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援　のんたん			
○保護者評価実施期間	令和7年2月15日		～	令和7年3月10日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	30名	（回答者数）	27名
○従業者評価実施期間	令和7年2月15日		～	令和7年3月10日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8名	（回答者数）	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　3月28　日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・送迎が充実している	・親御さんと安全面や必要事項（時間や駐車場・園との連携）を丁寧に取っている ・車の台数が多い ・支援者も送迎し、ドライバーも数人いる ・たくさん子供がいるが全てに対応出来ていると思う	・送迎スタッフが増える ・駐車場が増える（安全面） ・送迎のみスタッフも子供のことを知る ・行き違いのない様、休みや変更の連絡を受けたら担当者に伝えるよう皆で意識して取り組む（下校時間・家・学校・バンビ・園等）
2	・１人１人に合わせた療育（個性や特性） ・モンテッソーリやインリアルアプローチを取り入れ言語聴覚士と連携を取った療育 ・プログラムが充実している	・親御さんと連携を取り、本人のことを知り、発達検査や特性 ・個性を支援者で共有して支援をする ・研修を受けたり、子供と関わる時に意識して本人に必要な支援をする ・各フロアごとに子供たちが楽しく取り組めるようなプログラムの計画が行われている	・園などに見学へ行く ・特性や関わりについて学んでいく ・年に数回はスキルアップの為、研修を受ける ・お出かけなど車の運転事故がないよう、お出かけ先での子供たちの安全を見守っていく
3	・学年ごとに部屋がある	・本館に支援する部屋が３フロアあり、中高生は別に部屋を設けている ・他、学習・言語療法の部屋・運動など出来る部屋がある	・部屋数や建物が広い分清掃や整理整頓、管理など行っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門職が少ない（ST・OT等） ・人気があるのは良いが、子供達は増え支援員不足を感じることがある	・OTのんたんで専属 ・支援員・ドライバーの募集	・募集してみる ・現場と相談の上、ご利用開始を待っていただく。又は断ることもあるかも（あまりにも遠方であるとか）
2	・地域との関わりが少ない	・校区の子どもや保育園との交流	・未就園児のイベントの日を作って遊びに行く
3	・部屋の数が少ない	・常に大型遊具やボールプールが出来る状態である ・ST・OTの部屋がある	・もりおビル２Fを借りる ・児童発達支援はもりおビルで放デイはのんたんビル（思い切ってビルを分ける）

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援　のんたん

公表日　令和　7　年4　月　1　日

利用児童数　30名　回収数　27名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1	0	1	・活動によってスペースを区別してくれている	・活動によって４階の広いスペースを使っている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1	0	4	・先生が沢山おられて、情報共有もして頂いているので安心している ・職員は多く配置できている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	0	0	3	・子供の写真などでわかりやすく場所を示す。子供にわかりやすく説明してくれています。	子供たちがわかりやすいようにほぼすべての情報は視覚支援を取り入れて、構造化した環境を整えるように意識しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	0	0	1	・きれいに整理整頓されていて、おもちゃごとに区分けされていました。	整理整頓及び環境特に衛生面においては重視しています
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	1	0	0	・出来ていると思います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	27	0	0	0	・できていると思います。	毎年年度初めに親御さんに年間事業計画をお渡ししています。その中に今年度はこの目標にしたがって5領域を入れて支援をしていきますと書いた資料を掲載しています。それと同様にホームページの中に支援プログラムを掲載しています。のんたんはそれに基ずいて支援しています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	0	・わかりやすく、娘の特性に合わせて作成されています。	モリタリング会議をして職員同士共有し個別支援計画を立ている
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	0	0	1	・支援内容はしっかりできていると思う	個別支援計画中に本人支援・家族支援・移行支援・地域支援等親御さんの聞き取りから本人さんのニーズニあった支援計画を立てています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	0	・出来ていると思います	毎年のんたん通信・ホープページに今年度の目標・年度計画等をお知らせ致します。又個別計画等で本人さん支援の内容等を作らせていただきそれに沿った支援をさせていただいています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24	2	0	1	・色々な活動をされていて飽きないよう工夫されています	年間事業計画に沿ってプログラムを工夫して提供しています。又長期休み等は出来るだけ普段経験できない子供たちが楽しんでいただけるプログラム内容を提供させていただいています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	2	15	・こども園と別の療育に通っていますが、地域のお子さんとの交流となると少ないです	ほとんど交流する機会がないのでもっと交流する機会を作っていくようにしていきたいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	2	0	0	・説明してもらっています	運営規定の説明はしていないですがそれ以外の内容は契約時にさせてもらっています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	1	・説明してもらっています	モリタリングする前に職員でモリタリング会議を開き共有させていただきそれをもとモリタリングさせていただき支援の内容をお伝えしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	3	0	5	・予定が合わず参加できていないことがあるので、回数を増やしてほしい	ペアレント・トレーニングはしていません。出来る職員等の確保ができれば又保護者さんからのニーズがあれば今後検討させていただきます。研修会や保護者会の回数はもう少しできるように検討します
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	26	1	0	0	・連絡ノートを使い、娘の様子などを伝え合っています。	一応連絡帳やメール等を通して必要に応じてさせていただいています。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2	0	2	・入ったばかりなので ・面接で家庭での問題にアドバイスして下さいました。 ・もう少し面談の機会を増やしてほしい	・要望があればできるだけ対処させていただいていますが定期的な助言等はモリタリングの時ぐらいしかできていないのが現状です。必要があればその都度させていただきますので連絡いただければと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1	0	0	・何かあるとすぐに電話で報告を頂いています。	・親御さんや子供たちの気持ちに寄り添い共感できるよう努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	4	2	7	・入ったばかりなので分かりません。	・保護者会がコロナの関係で出来なかったりはっぴースマイルデーが利用者だけで行う時期が結構長く続いて、やっと昨年からできる環境になったので今年は保護者会だけでなくはっぴースマイルデーも地域の人たちや家族さんも巻き込んだイベントが出来ればと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1	1	3	してもらっています。	・相談問題等があれば、出来る限り敏速に対応させていただくようにはしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	0	できているように思います。	出来るだけ子供さんの気持ちに寄り添い理解するように努めていると同時に親御さんにもこちらの思いが伝わるようにはさせていただいています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	0	2	・ホームページで写真や様子がわかりやすく、参考にしています。	ホームページ・のんたん通信・SNS等で、活動概要や行事予定を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1	0	1	・してくださっていると思います。	遵守させていただいています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1	0	6	・ここはまだ詳しく聞いていないと思います。	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等は策定していますが保護者の方にすべて周知出来ていません。緊急時、警報等に関しては契約の時にマニュアルはお渡ししています。火災・地震・防犯等の訓練は定期的に実施しています。□
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2	0	9	・ここはまだ詳しく聞いていないと思います。	囚災・地震・防犯等の訓練は定期的に実施しています。□
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	23	1	1	2	・鍵をかけて安全に配慮されています	緊急時、警報等についてはマニュアルは作成していますのでそれに沿って対応させていただいています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1	1	2	何かあった場合に必ず連絡いただいています。	契約時に緊急時の対応等の説明はしています。又事故等あった場合は速やかに親御さに連絡説明し、対応させていただいています。□
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	26	1	0	0	・のんたんさんに楽しそうに通っています。	子どもたちが安心して自分らしく過ごしてもらえる場所でありたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	1	0	1	・子供は当初から好んで通所しています ・園に送っていただいたあと、いつも「のんたんさん楽しかったよ！」という顔をするそうです。 ・のんたんさんから返ってきたら、楽しかったと言います。 ・楽しみに通っているようです	子供たちが楽しく通っていただけることが何よりうれしいです。こどもたちの笑顔が絶えないように今後も自助努力していきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	0	0	0	・成長してくれています	子どもたちの日々の成長が親御さんに満足していただいて嬉しいです。今後も子供たちの成長にかかわれることにほこりを持ち満足していただける施設でありたいと思います。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援　のんたん

公表日　令和7　年　4　月　1　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	・人数が多くなると部屋分けをしている ・2部屋に分けているので見れている ・10人を超えることはない様変更をお願いしている	・人数とスペースが合っていない時がある ・仕切りドアが開けやすいので子供が開ける
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・足りない時はヘルプを事務所に出している ・発達スタッフ間で協力し合って補充している	・職員の数が少ない時がある ・発達としてはいけていると思うが支援については足りないと思う
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・部屋を2分割にして子供たちの特性に応じて対応できるようにしている。 ・2部屋しかないのでわかりやすいと思う ・視覚支援を使用し行動しやすくしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	・部屋を2分割にして子供たちの特性に応じて対応できるようにしている。 ・活動に合わせて部屋を変えている ・日々、清掃を行い細かい物は落ちていないか、危険はないかチェックしている	・活動によって手狭な時がある ・その都度変えている ・４階まで遠い
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6	2	・パニック時など他の部屋へ行っている	・発達専用の別部屋はないので確保できるように努めます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・特に利用者の支援に関してＰＤＣＡサイクル(のんたんではＴＯＣの考え方を取り入れ、やったこと・分かったこと・次にする事・それをする事によるメリット)を毎月子供の様子を観察し訓練会として２か月に一回職員と話し合いをし支援に活かしている。 ・研修で取り入れている	・観察する子供の人数が多く取り入れることができないので次年度は全体的に改善できる方法を取り入れていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・年に一度行っている ・業務改善につなげている ・保護者会や連絡帳やりとりしている	親御さんとモリタリングする前にモリタリング会議を行い、利用者にかかわっている職員の意見を聞き、それをもとにしてモリタリングをさせていただき個別支援計画を立てさせていただいています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・年に一度行っている（職員面談） ・会議等で話し合い、業務改善につなげている	親御さんとモリタリングする前にモリタリング会議を行い、利用者にかかわっている職員の意見を聞き、それをもとにしてモリタリングをさせていただき個別支援計画を立てさせていただいています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	・外部より人も来て、研修している ・第三者、外部評価がよくわからない	・今のところ出来ていない。今後の課題として考えていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・年に何度もしている ・外部より人も来て、研修している	内部研修・外部研修・主任研修・訓練会等職員の質の向上のため研修計画を年間事業計画を立て実行している。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	8	0	・ホームページ等で公表している ・毎年作成している	今年度の支援プログラムはほーむぺー
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・モニタリング面談をしている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・会議の中で共有している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・打ち合わせや会議などで共有出来ている	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・活動記録や必要に応じて行動観察や記録をつけている	・共有に十分な時間がとれるようにする
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・個別や専門支援計画を５領域に合わせて作成している ・個別支援で出来ている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・支援前に共有している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・子どもは飽きるのでいくつものプログラムを提案してる ・話し合いをして出来ている	・多くのプログラムがあり、視覚カードが追い付かない時がある
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・集団での療育とマンツーマン（個別療育）を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	・出来る様努力している	・出勤時間のばらつきで出来ていない時がある。（10時勤務スタッフは子供が10時前に来るので打ち合わせできない。）
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	2	・出来る様努力している ・振り返りをしている	・出来ていない時がある （午後支援もあり、午後の子どもが午前終了後すぐに来所の為）
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・日誌や活動記録を取っている ・検証、改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・必要に応じて面談・アセスメント見直しを行っている ・6か月に1回している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・担当者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・必要に応じて連携し、共有していいる	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	・親御さんや園との連携を必要に応じて取っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・保護者を通じて行っている ・連絡帳に書いて、共有している	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	7	1	・センターと連絡を取ったり、協議会の中で助言を受けたりしている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	・今後、園など交流を検討したい	・コロナ禍より地域の交流がなくなった

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・持っている ・電話、連絡帳、送迎時に行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・保護者会を行っている	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に行っている ・面談でしている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	8	0	・親御さんに寄り添った計画や子供主体とした計画を立てている ・6か月ごとに面談など行っている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・面談や電話で同意を得ている	・
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・面談や電話で行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	・保護者会やイベント等で行っている ・1年に何日かしている	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・早めに対応できるようしている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・個人情報に関しては外部の人に見られないよわぅに扉のあるロッカーに入れている。個人情報研修を行っている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・個々に合った視覚支援や写真等を使って伝達方法を行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	・事業所や園の先生など招いている ・フェイスブックなどでしている ・はっぴースマイルデーというイベントで地域の方を招待していた	・コロナ禍でなくなった部分がある
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・地震、火災・防犯等のくんれんはおこなっている。 ・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	業務継続計画（BCP）を策定し訓練もしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2	・保護者の相談受付表にて確認している ・紙に書いて貼っている	・予防接種は分からない ・定期的には行われていない
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	・保護者の相談受付表にて確認している ・アンケートで聞き取りをしている	・現在の利用児でいない為
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・安全管理チェックを毎月行っている ・3か月ごとに地震や火災の避難訓練は行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8	0	・活動案や日案に共有し、必要に応じて家族に連絡している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	・職員の日誌に記入している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・研修を行っている	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	・研修を行っている	

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　のんたん			
○保護者評価実施期間	令和7年2月15日	～	令和7年3月10日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	
○従業者評価実施期間	令和7年2月15日	～	令和7年3月10日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	１３人	（回答者数）	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　3月28　日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日常の中で送迎がある事（しかも台数が多い事） ・送迎車が多い ・送迎のみのスタッフがいてる ・送迎のきめ細かい配慮	・父兄の帰りが遅い子はその時間に合わせたりしている所（1便の最後にしたり） ・2便で送る等 ・無理な時は直接迎えに来てもらう等 ・送迎のルートを覚え、早く安全にお家に帰れるようにしている ・場所・相性などを理解しているスタッフが配分している ・基本的に要望（時間・場所等）に合わせている	・協力して何事でも早く終わらせること ・送迎に行ける人が増え、職員が作業に集中できる環境作りがいると思う
2	・５領域を取り組み、のんたん全体での目標に向かい支援プログラムを作成している ・発達・放デイ①、放デイ②、放デイ③、分室の５事業をまとめてやりくりできている ・春・夏・冬（休み）の特別プログラム時にも送迎がある為、プログラムの活動範囲が広い事。 ・個々に合った支援 ・毎日が楽しい、また行きたいと思えるような場所 ・相談員・保護者担当のケアスタッフとの連携 ・プログラム計画での決定 ・子供たち保護者が安心して預けられる場所 ・階で受け入れている学年が違う所 ・目標の達成に向けて支援プログラムの実施	・各フロアごとに目標を設定し、記録に評価を記入している ・窓口は１つにしまとめている ・保護者様の対応もわかる人がしている ・楽しめる環境作り。楽しんもらうという意識を持つこと。 ・玩具部屋の配置を工夫している ・情報交換をスタッフが集まる会議で行う ・個々に合った支援ができる。環境作り ・長期休みのイベントで楽しいイベントを考えて工夫している ・２F　小学１～３年、３F　小学4～6、分室　中学～高校と分けているため年齢が近い関係を作りやすい ・目標を意識しながら日々の支援や活動プログラムを実施している	・改善すべき点や試みを支援スタッフが全員で取り組む ・職員同士の連携、伝達忘れ、ミスに注意する ・色々なスタッフが関わると保護者様はややこしく、不信感になる ・楽しいと思える環境作り。活動内容・イベント・玩具・支援者の関わり方 ・随時、情報交換を出来るようにスタッフが意識する ・個々に合った支援ができる環境作り（ツール・支援者増幅・支援者の自己決定） ・スタッフ・子供達が楽しく過ごす事 ・日にちによってバラつきはある為、その日の子どもの様子で関われる子を増やしていける様に声かけ ・子供達の特性に配慮した個別対応の実施
3	・会議、研修を行っている （全体会議・各フロアでの会議・主任会議・社内研修） ・事業所内でいろいろと学べる環境があり、他へ研修にいかなくてもいい	・YWTMを各自記入し振り返りをしている ・共有を図っている	・内容のある会議にしていく ・現状維持

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・全体での連携が弱い ・情報の共有 ・責任感 ・仕事、目標に対する理解度、意識の格差 ・トラブルなどがあって誰でも対応ができる事 ・待機待ちとなっており、全ての子ども達を受け入れられない ・スタッフのスキルをさらに上を目指す ・子供達のたての繋がりが薄い	・各フロア内、自分の回りのみしか考えず全体が見えていない ・情報共有できておらず、突発的なトラブル変更多い ・原因の追究よりも言い訳を察していることが多い ・仕事、目標に対する理解度、意識の格差から生まれる仕事量の差。教育→分散のサイクルができない ・利用者さんが多い ・スタッフと利用者さんのバランス問題 ・みんなで助け合って仕事をする ・階で過ごすことが多く、年が上の子との関りが持てない	・報告・連絡・相談をしっかりする ・人任せにしない ・人のせいにしない ・情報共有の出来ないことによるデメリットを再認識して意識する ・ミスを認め、次につなげることの大切さの理解 ・個々に違うけど、最低限は合わせて一緒に取り組んでいく意識を ・スタッフの増員 ・空きが出た時に順番に案内する ・階の合同の計画など取り入れたらいいかと考える
2	・受け入れスタッフの数が足りなくなる ・支援と送迎両方できるスタッフが少ない ・きめ細かい送迎に対応するため施設に残るケアスタッフの不足 ・何でも車が乗れてどこでも行ける人がいること	・送迎に行く人がいて、受け入れスタッフがいない時がある ・免許はあり、通勤も車だが責任を負いたくない人が多い ・人員配置の偏り ・スタッフの人員不足	・各階で送迎、受け入れスタッフを確保する ・協力できる所は協力するなど前向きな姿勢を持つ ・自信がないなら車通勤をしない（通勤時に事故する安全性ない為） ・スタッフの増員 ・人員配置の再考

3	・清潔感、整理整頓がなされていない	・気づいた人がいつもしている ・各自、忙しいためか意識がない ・会期で決まっても実践するのは初めだけで続かない	・１日の始まりはそうじから？？ ・元の場所に片付けている ・お客様・利用者様を常に迎える気持ちを持つ ・物など同じところに置いていない時があるから同じ所に置く ・汚れているところや汚くなったら誰でもが掃除をしていく

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス　のんたん

公表日 令和7年4月1日

利用児童数 １００名　　回収数　65名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	61	4	0	0	満足しています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	58	5	0	2	十分配慮できていると思います。	・現時点においては適切な職員配置させていただいています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	57	6	0	2	生活空間はかなり広くとっていただいています。	２階は部屋を３つの空間に分けて支援しています。３階は２つの空間と３つの個室を設けていますので子供たちが自由に選んで過ごせる空間づくりにはしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	61	4	0	0	きれいで整理されています。	・職員には常に整理整頓を心掛けるように指導しています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	63	2	0	0	子供の特性を知ろうとしてくださっていてありがたいです。	・利用者の特性やニーズに沿った支援計画にもとずいて支援を心掛けています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	63	2	0	0	ほぼあっていると思います。	毎年年度初めに親御さんに年間事業計画をお渡ししています。その中に今年度はこの目標にしたがって5領域を入れて支援をしていきますと書いた資料を掲載しています。それと同様にホームページの中に支援プログラムを掲載しています。のんたんはそれに基ずいて支援しています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	62	3	0	0	・毎回丁寧なモニタリングをしていただいています。 ・個別支援計画を読ませていただくと、子供のことを理解していただけていると感じます。	親御さんとモリタリングする前にモリタリング会議を行い、利用者にかかわっている職員の意見を聞き、それをもとにしてモリタリングをさせていただき個別支援計画を立てさせていただいています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	62	3	0	0	されていると思います。	個別支援計画中に本人支援・家族支援・移行支援・地域支援等親御さんの聞き取りから本人さんのニーズニあった支援計画を立てています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	62	2	0	1	・放デイの計画が勉強不足でよくわかっていません	毎年のんたん通信・ホープページに今年度の目標・年度計画等をお知らせ致します。又個別計画等で本人さん支援の内容等を作らせていただきそれに沿った支援をさせていただいています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	59	5	0	1	・いろんな経験を楽しくさせていただけていると思います。	年間事業計画に沿ってプログラムを工夫して提供しています。又長期休み等は出来るだけ普段経験できない子供たちが楽しんでいただけるプログラム内容を提供させていただいています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	17	5	30	・地域の他の子どもの意味がどういう意味なのかよくわかりません	のんたんに通っていない子どもたちや地域に住んでいる子供たちとの交流、例えば他の事業所に通っている人や地域の子供会との交流だと思います。のんたんでは、はっぴースナイルデーを機会に出来たらと思っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	63	1	0	1	契約の時に説明してもらっています。	運営規定の説明はしていないですがそれ以外の内容は契約時にさせてもらっています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	65	0	0	0	モリタリングの時にモリタリング準備シートをもとに支援内容を説明してもらっています。	モリタリングする前に職員でモリタリング会議を開き共有させていただきそれをもとモリタリングさせていただき支援の内容をお伝えしています。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	56	4	0	5	されていないです。	ペアレント・トレーニングはしていません。出来る職員等の確保ができれば又保護者さんからのニーズがあれば今後検討させていただきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	64	1	0	0	日頃の様子等は連絡帳を通してしてもらえています。	一応連絡帳やメール等を通して必要に応じてさせていただいています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	62	2	0	1	・こちらが質問させてもらったら、お返事はもらえています。	親御さんからの相談やこちらが少し気になるお子さんに関しては出来るだけお話しする機会を作っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	63	1	0	1	・何かあるとすぐに電話で報告を頂いています。	・親御さんや子供たちの気持ちに寄り添い共感できるよう努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	50	9	2	4	・いろんなご家庭の話を聞く機会があり、参考にさせていただいています。 ・お祭りの時、兄弟も連れて行き、遊ばせていただきました。	・保護者会がコロナの関係で出来なかったりはっぴースマイルデーが利用者だけで行う時期が結構長く続いて、やっと昨年からできる環境になったので今年は保護者会だけでなくはっぴースマイルデーも地域の人たちや家族さんも巻き込んだイベントが出来ればと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	60	4	0	1	何かあれば声を枯れてもらっています。	・相談問題等があれば、出来る限り敏速に対応させていただくようにはしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	63	2	0	0	出来ていると思います	出来るだけ子供さんの気持ちに寄り添い理解するように努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	62	2	0	1	・子供たちの楽しそうな様子が見れて嬉しく思っています。	ホームページ・のんたん通信・SNS等で、活動概要や行事予定を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	64	1	0	0	出来ていると思います	遵守させていただいています
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	46	9	1	9	・避難訓練等はされています。	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等は策定していますが保護者の方にすべて周知出来ていません。緊急時、警報等に関しては契約の時にマニュアルはお渡ししています。火災・地震・防犯等の訓練は定期的に実施しています。□
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	45	8	0	12	参加したことはないですがされていると思います。	囚災・地震・防犯等の訓練は定期的に実施しています。□
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	55	4	0	6	・台風の時の対応について説明文をもらいました。	緊急時、警報等についてはマニュアルは作成していますのでそれに沿って対応させていただいています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	55	4	1	5	一応してもらっています。	契約時に緊急時の対応等の説明はしています。又事故等あった場合は速やかに親御さに連絡説明し、対応させていただいています。□
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	65	0	0	0	・安心して通わせいてます。	子どもたちが安心して自分らしく過ごしてもらえる場所でありたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	61	4	0	0	・家では時間を割いて出来ない裁縫をしてもらったり、手芸をしてもらったり、学習支援もしていただいており、大変助かっています。	子どもたちがのんたんは楽しい、面白い又行きたいと思ってもら得る様に色々な楽しい取り組みをさせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	64	1	0	0	・のんたんに行きたいとよく言います。 ・子供たちの成長や興味に応じた支援をしていただけてありがたいかぎりです。	子どもたちも親御さんも満足していただいて嬉しいです。これからも子供たちが楽しいと思いのんたんに来ることを楽しみに満足してもらえるよう努力させていただきます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　のんたん

公表日　令和７年　４　月　１　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	・遊びによって部屋を分けている ・本を読むスペース、宿題をするスペース分けている	・1人になれる場所を作る (個々に合ったスペースを作る)
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	5	・管理者、主任で調整している ・他階から協力してもらっている ・その日の出勤スタッフや各階の人数やタイプを見て入れ替えたり、行ける時間助け合っている	・足りない時もあるが基準ではある ・送迎スタッフと受け入れスタッフの階による割合がバラバラ。他階から協力してもらいながらおこなっている ・工夫できていない所もある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・構造化は都度見直し取り組んでいる ・部屋、コーナーの使い分けをしている	・配置などを時々変える
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・空気清浄機を活用 ・換気もしている ・ゆとりある空間になっている ・その都度学習の場、運動の場など工夫をしている ・毎日掃除できる様している ・スタッフが楽しませている	・個々に合ったスペースを作る
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	・必要に応じてしている ・3階に関してはその時の子どもの状態で使用する時や個人的に話をする時に使用できている	・必要に応じ個別にできるように工夫はしている。個別部屋は作れない（スペース的に）
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	・一部の主となる人でしている	・意識をもつ（全体的に） ・時間がない為、していない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	・している	・全員で共有する場は設けられていないがHPで公表はされている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	・している ・全体で設けられている時もあるけど、日常生活の中で管理者等が気軽に話しかけてくれて、話しやすい環境ではある	・改善にはつながっていない ・意見を言っても活用はされない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1	・している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・内部研修をしている ・年間計画で研修を組み込んでいる ・未経験者でも研修や会議に参加できる	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	・５領域を組み入れている ・毎月HPにアップしている ・毎回、主任の方々や担当のスタッフの方々が作成してとてもわかりやすい	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	・子供、保護者のニーズに耳を傾けている ・とても細やかな部分まで考えて作成されている	・子供、保護者さんのニーズ、本当にそうなのか疑問に思う時があるので思い込みにならない様に気を付ける ・自分はしていない為、出来ない
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・全体会議で行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	10	0	・計画通りいかない時もある ・当日ではなく、前日に打ち合わせをしている	・子供の状況により、応変な対応をしていく

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・活動記録に記入している ・時間がある時に目を通している	・日々、観察していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	・個別支援には記入している ・面談の時にすべて伝えている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	・会議で行っている ・出来ない分は協力している ・利用者に合わせて適時プログラム見直しを行っている ・難しい所は聞きに行き意見をもらっている ・主任と相談して行っている	・個人で考え、出来ているか、不足はないかを共有している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・子供のメンバーを見て決めている。変更する時もある ・日によってやる事は同じでも段階をアップしている ・いろんな案を考えている ・主任と相談して行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・専門支援計画を作成している ・活動している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	3	・全員そろっての打ち合わせが困難なため日案に記入し共有。	・時間で確保する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	4	・現場の中で共有している ・最後にメインが管理者に報告をしている	・毎日行えていない。時間的に ・主任が打ち合わせをしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	・モニタリングを行う時に記録を見て振り返っている（分析）	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	・面談で見直しを行っている	・自分は出来ていない
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10	0	・子供の意見を聞きながら選択できる様自己決定を促している	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	・決定できやすい環境設定を取り入れている ・活動の遊びの中でしている ・日常の中や活動の中で支援されるような声かけをしている	
関係機関や保護者との	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	・直接支援している者が行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	連携まで出来ていないが必要な時には担当者会議や、ケース会議等でおこなっている。	・日頃から連携まで出来るようする工夫をする
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	2	・学校へのお迎えの時に引き継いだり共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1		・一部のみ出来ている。のんたん内での児発から放デイへの引継ぎは出来ている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	3		・以前はされていたが、今はわからない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6	4		・センターとの連携は出来ていないのでこんご連携を取るようにしていくね、

の連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	3	・地域のイベントに参加した（あやめ池フェスなど）	・地域の活動にはたまに参加するが、他児との交流はない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	3		・自立支援協議会はできていない ・主任が請け負っている
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・連絡帳、TEL面談を通じて伝えている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	・保護者会を実施	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	・契約の時に伝えている（管理者）	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・面談や電話の聞き取りをしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	10	0	・了承を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	・必要な時は面談を実施 ・モニタリング電話で話を聞いている ・細かく行われている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	0	・開催している。有意義な時間を過ごしていると感じた	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・管理者に伝え、対応をしている ・トラブルがあった時はその日中に電話対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・HP、ブログ、のんたん通信で発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・外に漏らさない様に気を付けている	・職場内では不十分さはある
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	・視覚化をしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2	・図っている	・コロナ禍より実施できていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	・実施している ・保護者の方には契約時のみしているため忘れている	・地震、火災のみ訓練実施されている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	・親御さんと共有している ・連絡帳に書いている時は必ず確認している ・必要がある場合はしている	てんかん等のあるお子さんの対処方法を誰でもが見やすくすぐ対応できるように皆が見やすい所に設置しておく
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2	・医師の指示書までは報告受けている子供はいてない ・個人ファイルを見て気を付けている	契約時に食物アレルギーアンケートとってファイルに入れているので、見やすい所に保管するようにする。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	・行われている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	10	0	・行われている	・契約の時に説明している

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・会議で共有 ・フロア内で共有	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待防止・身体拘束の指針を作り研修しているる	年一回以上は研修するよう努めている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	・面談で必要な子供には保護者に伝え、個別支援に記入している	

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　のんたん分室			
○保護者評価実施期間	令和7年2月15日	～	令和7年3月10日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）		（回答者数）	20名
○従業者評価実施期間	令和7年2月15日	～	令和7年3月10日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	１０名	（回答者数）	８名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3　月　28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用人数等にもよるが子供に寄り添う時間を取れる（人数が少ない時） ・利用者さんが安心して過ごせる気持ちになれる様、職員はもちろん環境作りもおおらかに教えていること ・学年別にフロアが分けられ、年齢、特性に沿った環境設定が行われている	・手洗いとあいさつは出来るように見守りや個々に合ったやり方を教えている ・利用者さんの特性に則した支援を考え、実行している。又それを行うために意見交換を活発にしている。	・左記の事だけでなく、スタッフ同士が話し合い共有する ・打ち合わせする時間を出来るだけとれるように工夫する
2	・個々に合わせた支援内容で実行できる（人数にもよる） ・言語療法・ポケットの学習の場、療育の場がある事 ・長期休みのイベントは子供たちが興味を持って参加できるよう提案されている	・子供達に選択してもらう（できない子には洗濯枠を提示） ・特性に合ったツールで伝える ・個々にあった対応については、対応・環境設定を常に振り返りをしながら反省も含めて次に生かせるように努めている。	・上記と同じ ・支援者が支援の経験を積み出来ることを増やす
3	・発達から高校生まで継続して利用できる ・一つの建物が施設とあるので何かあったときは利用できる ・スタッフ同士の連携がとれている	・連絡報告はまめにしている ・運動する場、遊ぶ場・勉強する場等メリハリが付くように場所を分けている	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用者さんの受け入れ人数に対し、支援員の配置人数が少ない（飽和状態） ・専門性の高い職員が不足している（スキル・経験の不足）	・経験不足 ・出来る人が実行してしまう ・スタッフ各自がより良い支援を目指しているが、物理的な面でそれがそがれてしまっている場面が多いのでは？ ・職員の育成（育成機関を見越したスキルアップ）	・色んなことを経験して実力をつけてもらう ・出来る人は見本となったり任せてみる ・スキルUPできるよう力を尽くす ・職員間での協調性が必要 ・人員強化
2	・改善を求める声の吸い上げが弱い	・時代に伴う変革が進んでいない様に感じる	・事務作業の軽減化 ・突発的に増える事務作業の軽減化 ・現場の声に耳を傾ける ・年間事業計画の見直し
3			

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス　のんたん分室

公表日 年月日　令和７年４月１日

利用児童数 ３２名　　回収数　20名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	0	0	3	・分室の中を見たことがないので ・本館ほど広くはありませんが。	・分室を見学していただける機会を作らせていただきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	2	・多分	・現時点においては適切な職員配置させていただいています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1	0	4	・勉強する時にはパーテーションで落ち着く空間を作っていただいています。	・個室を確保できないので学習に集中できるようにパーテーションで区切らせていただいています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	3	・面談等で行かせていただいた時、きれいで整理されていました。	・職員には常に整理整頓を心掛けるように指導しています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	0	・時々、お電話いただきます。子供の特性を知ろうとしてくださっていてありがたいです。	・利用者の特性やニーズに沿った支援計画にもとずいて支援を心掛けています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	19	1	0	0	・ブログやのんたん通信のことでしょうか。	・ブログやのんたん通信のことではありません。毎年年度初めに親御さんに年間事業計画をお渡ししていると思います。その中に今年度はこの目標にしたがって5領域を入れて支援をしていきますと書いた資料のことです。それと同様にホームページの中に支援プログラムを掲載しています。のんたんはそれに基ずいて支援していますので見ていただけたらと思います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1	0	0	・毎回丁寧なモニタリングをしていただきありがとうございます ・作成していただいた個別支援計画を読ませていただくと、子供のことを理解していただけていると感じます。	親御さんとモリタリングする前にモリタリング会議を行い、利用者にかかわっている職員の意見を聞き、それをもとにしてモリタリンぐをさせていただき個別支援計画を立てさせていただいています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	2	0	1	・出来ていると思います	個別支援計画中に本人支援・家族支援・移行支援・地域支援等親御さんの聞き取りから本人さんのニーズニあった支援計画を立てています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1	0	0	・本人が自分で言えるようになるのが一番なので待ってくださったりしてくれています。	基本的に本人が自分の気持ちや要求を自分の言葉や言葉以外の伝達方法でいえるようになってもらえるためにできるだけ「待つ」「聞く」「質問する」を大事に心がけています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	0	0	0	・色々してくださっています。	・特に長期休みは子供たちが普段経験できない内容を色々考え工夫して取り組んでくれています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	6	5	・そのような企画に参加したことがありません。	特にしていませんができればこれから地域の人たちとの交流する機会を作って行けたらと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	1	1	・支援プログラムについて詳しくお話してくださいました	運営規定については特に説明はしていません。契約するときに重要事項説明書・契約書・支援内容その他必要事項のみ説明しています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0	・説明してもらっています。	・契約するときに一応支援内容等の説明はしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	0	3	・大変有益な勉強会に参加させていただき、毎回楽しみにしています。 ・保護者向けの勉強会を企画してくださいます。	・ペアレント・トレーニングはしていませんが、講師の方を招いての勉強会を通して、グループワークをし、親御さん同士の交流会を行っています。今年もしますので多くの方に参加していただければ嬉しいです。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2	0	0	・ノートでは伝えきれない時、お電話下さいます。	・連絡帳を通して共有させていただいています。特に問題があってたり、連絡帳だけでは伝わりにくい内容に関しては、必ずお電話させていただくようにはしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	1	1	・必要な時にしてもらっています。	・定期的にはしていませんが必要に応じて対応させていただいています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	0	0	・何かあるとすぐに電話で報告を頂いています。 ・とても思います。何年も前から子供の成長を見ていただいているので。	・親御さんや子供たちの気持ちに寄り添い共感できるよう努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	3	1	1	・いろんなご家庭の話を聞く機会があり、参考にさせていただいています。 ・お祭りの時、兄弟も連れて行き、遊ばせていただきました。	・保護者会がコロナの関係で出来なかったりはっぴースマイルデーが利用者だけで行う時期が結構長く続いて、やっと昨年からできる環境になったので今年は保護者会だけでなくはっぴースマイルデーも地域の人たちや家族さんも巻き込んだイベントが出来ればと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	1	・「何かあればおっしゃってください」と日頃からお声かけ下さいます。	・相談問題等があれば、出来る限り敏速に対応させていただくようにはしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1	0	0	・電話の他、メールでも連絡が取れるため便利です。 ・連絡帳で毎回やりとりしていただいています。	・連絡帳・メール・電話等を通して出来る限り対応させていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	0	1	・のんたん通信やフェイスブックで知ることができます。	ホームページ・のんたん通信・SNS等で、活動概要や行事予定を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	1	・公に顔出ししないように配慮していただいています。	・契約の時に説明して留意しています。又本人の写真等は保護者の方に許可いただいている方のみ載せるようにしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	5	0	1	・活動に参加した日ではなかったのですが、避難訓練がありました。	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等は策定していますが保護者の方にすべて周知出来ていません。緊急時、警報等に関しては契約の時にマニュアルはお渡ししています。火災・地震・防犯等の訓練は定期的に実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2	0	2	・活動に参加した日ではなかったのですが、避難訓練がありました。	火災・地震・防犯等の訓練は定期的に実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	18	1	0	1	・台風の時の対応について説明文をもらいました。	緊急時、警報等についてはマニュアルは作成していますのでそれに沿って対応させていただいています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	1	0	・多分。まだケガをしたことがないので	契約時に緊急時の対応等の説明はしています。又事故等あった場合は速やかに親御さに連絡説明し、対応させていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	・楽しみにしています。	子どもたちが安心して自分らしく過ごしてもらえる場所でありたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	0	0	0	・お出かけやクッキングを楽しみにしています。	子どもたちがのんたんは楽しい、面白い又行きたいと思ってもら得る様に色々な楽しい取り組みをさせていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	2	0	0	・本人、親共に支えていただいて感謝しております。 ・送迎の人によっては、子どもへの配慮に欠ける人がいるように思う。 ・色々な企画があり、活気があり、楽しい雰囲気があります。	送迎に関しては、子供への配慮が出来ていないというご意見を真摯に受け止めさせていただき、今後そのように事がないように指導させていただきます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　のんたん分室

公表日　令和7　年　4　月　1　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	・遊びによって部屋を分けている ・本を読むスペース、宿題をするスペース分けている	・全員で活動するにはせまい ・活動によって部屋割りを工夫したり、本館の４階を使ったりする
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	3	・状況によってはヘルプを出し、多くスタッフを配置した	・足りない時もあるが基準ではある ・送迎スタッフと受け入れスタッフの階による割合がバラバラ。他階から協力してもらいながらおこなっている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・構造化は都度見直し取り組んでいる ・パーテーションを利用している	・西日がまぶしいのでカーテンをつける
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・一つ窓は開け、換気し網を貼った ・活動や子供の状況に沿って空間を仕切ったり広げたりしている	・木がもろい ・換気の窓から虫が入る ・借家なので修理を頼んでみる
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・必要に応じ個別にできるように工夫はしている。 ・パーテーションや机を使って作る	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	・子供の観察をし、支援を考え実践した	・支援（活動など）の振り返りをする時間が中々取れないのでとれるよう工夫をしていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	・回収時に一通り目を通し、意見は共有するよう心掛けた	・全員で共有する場は設けられていないがHPで公表はされている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	・意見は会議などで話し合える	・改善にはつながっていないので改善できる方法を皆で考えていく ・意見を言っても活用はされない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	・あまりわからない	・外部に評価してもらう ・外部評価の結果を知らない ・外部評価をしてもらっていないので小言りいけていく方向で検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	・研修や外部研修に参加している ・高頻度で研修は開いている	・支援の実践につながる研修を増やしてはどうか？
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・５領域を組み入れている ・支援プログラムは作成できていてホームページ等で公表している	・子供を支援するにあたり5領域が本当に必要なのか検討課題
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・6か月に一度、電話や面談を行うよう努めている	・親御さんの都合がなかなかつかない時がありアセスメントの時期がずれ、個別支援計画の作成がずれることがある
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・他支援者と都度聞き取り相談している ・モニタリング会議で話し合いの場を設けている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	8	0	・計画は全員目を通してもらっている ・誰もが見れる様、資料回覧を作ってくれている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・誰もが見れる様、資料回覧を作ってくれている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・モニタリングや学校（必要な子）はケース会議を開いている ・図書館等にお出かけに活動としていく ・前回モニタリングの資料を見ながら振り返りをし、次期に必要な支援を考えている	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・相談があれば一緒に考えている ・チーム全体としては難しい時、少なくとも主任とは情報、企画を相談しながら行っている	・個人で考え、出来ているか、不足はないかを共有している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・色んな事をネット等で探している ・一年のテーマに沿った内容が重ならない様、月ごとに変化を持たせている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・活動はグループ分けして行っている ・近々のこどもの状況を都度シェアしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	4	・全員そろっての打ち合わせが困難なため日案に記入し共有。	・送迎で抜けると中々できないので工夫する必要がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	2	・次の日に話を聞く。又はその日にメール、ライン等で知らせてもらう ・前回何があったか、活動記録を見て確認するようにしている	・送迎、契約時間等、時間的に難しい ・学校や勤務時間の差異がある為、物理的に難しい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・日案や活動案で検証 ・活動記録からの情報が役立っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・モニタリングの人が出来る様、他の人が日々の業務を手伝う。協力して行う	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	3	・地域交流の機会については次年度から更にその機会を増やす方向（ボブスカフェでの販売）	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・おめめどうメモ等、ツールや記入してもらっている ・都度、意思確認の場を設けている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	・その人が参加できるよう他支援者が協力している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	4	・けがをした時にかかりつけ医はある	・連携まで出来ていない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・学校へのお迎えの時に引き継いだり共有している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	・一部のみ出来ている。のんたん内での児発から放デイへの引継ぎは出来ている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	5	・最後のモニタリング計画書を使っている	・必要に応じてしているが必要なのかは課題
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3	5	スーパーバイズや助言はあまりできていない。	・センターとの連携は出来ていない気がする・ ・身近にスーパーバイズや助言や研修を受ける機会がない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	・地域のイベントに参加した（あやめ池フェスなど）	・地域の活動にはたまに参加するが、他児との交流はない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	・参加していると思う	・自立支援協議会は管理者が出ている ・主任が出る時もある
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・連絡帳、TEL面談を通じて伝えている ・連絡帳を介して共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・相談があれば助言しているがペアレント･トレーニングまではできていない	ペアレント･トレーニングできる支援者がいない。今後保護者のニーズが多ければ検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約の時に伝えている（管理者）	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・モニタリングで聞き取りしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8	0	・モニタリングで聞き取りし、確認をもらっている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・都度行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	3	・年に一度行っている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・都度対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・月に一度の通信をフェイスブック更新をする ・のんたん通信	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	2	・職場内では不十分さはある	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		・コロナ禍より実施できていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・年に三回訓練を行っている	・地震、火災のみ訓練実施されている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	業務継続計画を作成している。年に３回火災・地震・防犯の訓練をしている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・契約時等に行っている ・薬等を保管している	・てんかん時の流れの作成をする ・必要な時、すぐに連絡できる様、電話番号を書いて貼っておく必要がある
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	・通信にクッキングの詳細を出して知らせている	・医師の指示書はない ・父兄の指示
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・チェックシートで月に一度確認をしている	・研修等はされていない
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8	0		・契約の時に説明されていると思う ・年に一度（新年度）に配布するといい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・職員の日誌に記入	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		・職員全体ではない気がする ・ドライバーは参加できていないと思う
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	3	・契約時に説明	・今後、一文を記載する

児童発達支援　事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和　6　年　3　月　　日

公表：令和　6　年　4　月　　日　　事業所名　　のんたん

		チェック項目	はい	いいえ	回答なし	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	1	活動やメンバーによる 変更キャンセルをかけることが多い 一人一人が過ごしやすいスペースは確保できている
	2	職員の配置数は適切である	4	3	1	マンツーマンの子どもが多い時、スタッフが足りない時がある 午前支援の手が足りないように思うことがある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	0	部屋を2分割にして子供たちの特性に応じて対応できるようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	0	部屋を2分割にして子供たちの特性に応じて対応できるようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	0	1	特に利用者の支援に関してPDCAサイクル(のんたんではTOCの考え方を取り入れ、やったこと・分かったこと・次にする事・それをする事によるメリット)を毎月子供の様子を観察し訓練会として月一回職員と話し合いをし支援に活かしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	2	・改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	2	公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	2	今のところ出来ていない。今後の課題として考えていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	0	・今年度は内部研修1回、外部研修4回《廣瀬先生による感覚統合の研修2回、田中先生による支援者としてのスキル・親御さん向けの研修》を実施。訓練会は講師により2か月に一回実施。次年度は2か月一回の訓練会・内部研修年3回・外部研修3回の予定をしている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	0	・している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	0	・のんたん独自のアセスメント準備シートを作成しそれを使ってしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	0	・のんたん独自のアセスメント準備シートを作成しそれを使ってしている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	0	・児童発達支援計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	・活動担当を決めて、担当の職員が立案し、行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	0	・職員同士で話し合いをして年間の活動プログラムを検討決めている。

供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8	0	0	・職員同士で話し合いをして決めている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	・毎日打ち合わせと振り返りをしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	・毎日打ち合わせと振り返りをしきずいたところは職員同士共有し次の支援に活かしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	・年間計画を立て月案・日案を立て内容をその都度検討している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	・年2回のモリタリングを通して計画の見直しをしている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	1	・担当者・管理者が行くようにしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	6	0	・担当者・管理者が行くようにしている。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	0	4	・医療的ケアが必要な子どもの支援はしていない。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	0	5	・医療的ケアが必要な子どもの支援はしていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	2	必要に応じて担当者会議等を行い情報を共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	0	3	・必要に応じて担当者会議等を行い情報を共有している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	1	発達検査等
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	6	0	特にない
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	0	2	担当者が参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	1	・モリタリングや連絡帳及び電話等で行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	2	2	・理事長が一手に引き受けている時がある。職員が行えるように職員研修を充実させていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	3	・説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	1	・契約内容を説明し同意をもらっている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	1	出来る限り行っている。

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	1	今年は一回保護者会を行った
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	1	その都度対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	2	・のんたん通信にて発信している。（紙の配布・HP・メール）
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	1	・「個人情報」という理解、今は大変厳しくなっているので職員には徹底してい。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	1	・出来る限り配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	3	ハッピースマイル等地域の日知たちを巻き込んでのイベントがコロナ等できなかった。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	1	年3回地震と火災の避難訓練を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	1	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	2	1	・面談の時に聞き、出来る限り配慮対応している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	3	面談の時に食物アレルギーがあるかのアンケート調査を行い、それに基づいて対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	3	・日誌にて共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	3	職員用の支援ガイドに基づいて研修して共有している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	3	・身体拘束についてはいかなる理由があってもしないと重要事項説明書に明記している。

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援　保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　6　年　4 月　　日　　アンケート期間：令和　6年　3月　1日　～　令和 5年　3月　15日

事業所名　　のんたん　　保護者等数（児童数）53　　回収　43人　　割合　87%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	36	2	0	4	1	年齢によって活動スペースを区別してくれている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	32	1	0	10	0	言語や学習への支援をして頂ける。 先生が沢山おられて、情報共有もして頂いているので安心している ・見る機会がない為わからない ・職員は多く配置できている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33	1	0	9	0	・サインを使って分かりやすくなっている ・見る機会がない為わからない ・子供達の特性に合った配置が出来ているように思う。 ・色々工夫されている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	39	0	0	3	1	・見る機会がない為わからない ・子供達の活動の部屋は工夫され常に掃除が行き届いている
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	40	0	0	3	0	丁寧に聞き取ってもらっています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	34	0	0	9	0	支援内容はしっかりできているように思う。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	37	2	1	3	0	・出来ている。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	34	2	2	5	0	月や曜日、長期休み、季節に合わせた支援がある。 同じ活動が多いように思います。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	3	3	23	1	あまりないように思います。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	41	1	0	1	0	・説明してもらっている。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	38	1	1	3	0	・説明してもらっている。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	21	8	1	13	0	コロナ禍や自己都合の欠席で参加できていなかったかもしれない。 参加したことがないだけかもしれません。 興味はあるが子どものみ通っているため機会がない。（自主学習用に本はある）

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	31	7	0	5	0	活動内容だけでなく、子どもの様子をもう少し知る事が出来たら有難いです。 施設での子どもの様子が具体的に分からないなkと感じます。 お忙しい中で連絡帳を書かれていているとは思うのですが、もう少しのんたんでの子どもの様子が分かるといいなと思います。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	4	2	6	0	半年に一回の面談では少なく感じる。 「今日は〇〇をしました」だけだと、お友達との様子などどうだったなのかなと思います。 親でも気付いていない点を指摘してもらったことがある。 送迎時に時間が許す限りお話してくれる。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	9	6	1	16	来月の保護者会がはじめてです。 次回参加してみたい。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	32	5	0	6	0	臨機応変に対応してもらっていて助かっている。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	4	0	7	0	悩みが多いときなど連絡帳のスペースが足りず困る。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	35	3	0	5	0	毎月通信で様子が見える。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	40	1	0	2	0	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	39	2	0	2	0	定期的に実施され、子どもも動き方を理解している。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	3	0	16	0	して下さっていると思うが、あまり気付いていない
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	43	0	0	0	0	のんたんでの様子を写真で見た時tおりくんでいる。笑顔で参加しているようだったので安心しました。 楽しく行き、内容もおおむね意欲的に取り組んでいる。 楽しく通っています。ありがとうございます。

	23	事業所の支援に満足しているか	41	1	0	1	0	送迎して頂けるのはとても有難いです。もう少し施設での様子や反応を教えて頂く機会や子どもの特性に応じた声かけの対応を考えさせて頂く機会があればいいなと思います。。

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日令和 6年 3 月 日

公表：令和 6年 4 月 日

事業所名 特定非営利活動法人ザ・ホープフル のんたん

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	4	0	・部屋を分けている為。多くても適切
	2	職員の配置数は適切である	5	5	1	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	5	1	トイレ段差あり
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	3	0	振り返りはメインがまとめてしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	3	1	年に一度自己評価アンケートをしているが、職員は把握していない
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	3	・ホームページに載せている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	4	0	・第三者による外部評価が行えていないので、外部評価を行い業務の改善につなげていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2	0	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	0	0	・作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	3	0	・標準化されたアセスメントツールかわからないが、訓練会でベストプラクティス（事例集）を作っている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1	0	・年間計画を立て月案・日案を立て内容をその都度検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1	0	・年間計画を立て月案・日案を立て内容をその都度検討している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	2	0	・長期休暇に関しては普段なかなか子供たちが経験出来ないプログラムを計画し実践している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	9	1	0	・作成できている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3	0	・全員そろっての打ち合わせは難しいので、日案・活動案を通して共有している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	2	0	・その場にいてる職員・担当・メイン職員で振り返りをし。理事長に報告している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2	0	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1	1	・記録の書き方、中には職員の思い・意見が入ってしまっていることがある
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7	3	0	・一応している。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	2	0	・担当者が行くようにしている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	1	0	・担当者が行っているが、連絡がうまく取れなかったり、お互いの変更連絡が出来ていなかったりする時があるので窓口を一本化していくことでトラブル等の改善を行っていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	2	2	・連絡先は貼ってあるが、主治医と直接連絡したことはないと思う
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	3	0	・放課後デイへの引継ぎの会議を設けている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	2	1	・学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の個別支援計画を渡している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	6	0	・研修がある時は出来る限り受けるようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	5	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	4	2	・担当の職員が参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	2	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	3	6	1	・特に事業所内ではしていない。今後必要に応じて出来る様にしていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	1	・理事長が契約時にして下さっている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1	0	・一応その都度行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	2	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	・のんたん通信にて発信している。（紙の配布・HP・メール）
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	1	0	・のんたん通信にて発信している。（紙の配布・HP・メール）
	35	個人情報に十分注意している	9	0	1	・「個人情報」という理解、今は大変厳しくなっているので、気を付けて徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	2	0	・出来る限り配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	4	コロナ等があったので今のところは自粛している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	4	0	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは策定し、職員・保護者に周知し訓練を実施している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	1	1	・年3回地震と火災の避難訓練・防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	2	0	・のんたん独自の支援者ガイドブックを使って虐待防止の職員研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	5	0	・保護者への説明書きは、契約時のみで、長年利用されている方は忘れていると思う事もあるので機会を見つけて再度説明する必要がある。基本的に事業所ではいかなる場合も身体拘束は禁止している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	1	1	・アンケートを通してアレルギーについては聞きファイリングして整理している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	4	1	・連絡日誌で共有しているが、全員が見ているのかわからないときがあるので、再度必ず目を通して共有するように徹底していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和　6年　　月　　日　　アンケート期間：令和6年　3月　1日～令和6年3月15日

事業所名　のんたん　　保護者等数（児童数）109　回収数　82　　割合　　73.2　%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	77	5	0	0	建物が広いので子どもも喜んでいます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	76	6	0	0	子どもの特性に応じた支援や言葉かけをしていただけていると思います。 子どもに応じた支援をしていただけていると強く感じます。 職員の配置を把握していない。 送迎の方が専門的でとても安心感がある。（子どもに対しても丁寧）
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	65	14	0	3	
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ｉが作成されているか	81	1	0	0	子どもの様子を丁寧にみて、詳しく計画して頂いています。
	5	活動プログラム※ⅱが固定化しないよう工夫されているか	74	8	0	0	いろいろな経験をさせていただけて有難いです。 色んな経験ができるように活動を組み立てていただけていると思います。 毎日季節の行事や遊びを取り入れながら工夫されています。特に夏休みに充実していました。 外での行事が多くて子どもも楽しそうです。 色んな企画があり、子どもは喜んで参加している。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	21	46	13	2	参加したことがないです。 障害のない子どもとは学校ですでに交流があるので、必要ないと思う。 感染症予防の為に、交流は難しいと思います。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	78	3	1	0	

保護者への説明等	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	80	2	0	0	子どもの成長についても一緒に考えて頂いています。 連絡帳で活動の様子を詳しく書いて頂いています。 お友達とのトラブルが起きた時も些細な事も連絡頂き助かります。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	78	4	0	0	悩みなども面談時に聞いて頂いたりと有難いです。 面接時には、いろいろとアドバイスを頂き大変勉強になっています。 いつも助言いただいております。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	53	24	5	0	コロナ禍で難しかったと思うので、これから増えるといいですね。 あまり自分が参加していない。 はっぴースマイルデーなど少なくなったので知らないお母さん方が増えた印象がある。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67	13	0	2	苦情があるという事案を聞いていないので、対処されているのか不明の為どちらとも言えないにしています。 苦情について特に聞いたことがない。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	76	6	0	0	いろいろと聞きやすいようにお声掛け頂いています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	76	5	0	1	子どもたちの楽しそうな様子が見れて嬉しく思います。 子どもたちの活動の様子が見れるのをいつも楽しみにしています。 曜日毎に活動が変わっているが、通所が同じ曜日になることが多く結局同じ活動になっています。
	14	個人情報に十分注意しているか	78	3	1	0	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	62	20	0	0	緊急時対応と防犯については不明です。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	62	20	0	0	週1回の利用なので、分かりません。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	77	5	0	0	友だちと遊べるのが嬉しいようでいつも楽しみにしています。 いつも楽しく通わせていただけているように感じます。 小学校を休んでも「行きたい」と言ってくれる。 学年が上がり、お友達と遊ぶ事を優先したい時もありますが、行った時は楽しかったことを嬉しそうに帰ってきます。長期休みのイベント活動は毎回とても楽しみにしています。 外出プログラムは、どこに行くのだろう？何をするのだろうか？と楽しみなようです。 学校は楽しくないと行っていますが、のんたんは楽しいと言っています。 いつも楽しく行っています。
	18	事業所の支援に満足しているか	80	2	0	0	家庭ではなかなか経験できないこともたくさんさせて頂けて親子共々有難く感じています。 学校にいけない日は、早めの利用に対応して下さり、助かっています。 子ども達と外に遊びに連れて行ってくれるなど、家では行けない所も連れて行ってくれ、楽しく通っている。 ポケットは子どもの意見を尊重して頂いているのですが、できれば習慣化して笑って学習できるよう「〇〇分は学校の宿題は必ずする」など具体的な学習をしてきてほしい。

※ⅰ 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ⅱ 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。